



認知症かな？と思ったら・・・

早期に症状に合った対応をすることで、症状の改善や進行を遅らせることができます。相談することで、新しい発見があり、ご家族の負担の軽減につながることもあります。

相談

地域包括支援センターでは 保健師や地域での活動経験がある看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員(主任ケアマネジャー)などの様々な分野の専門職が、高齢者がより良く暮らせるよう、一緒に考え、必要なサービスにつなぐお手伝いをしています。お住まいの地域の包括支援センター(裏面の表でご確認ください)へお気軽にご相談ください。必要に応じて つしまオレンジサポートチーム へつなぎ、認知症の早期診断、早期対応に向けた支援を受けることもできます。



受診

認知症の原因を調べ、薬や日常生活、家族にできること等について、医学的な助言を受けることができます。まずは、かかりつけ医に相談してみましょう。必要に応じて、認知症疾患医療センターへつないでくれます。



認知症には
アルツハイマー型認知症
血管性認知症
レビー小体型認知症
などがあり、**症状も様々です。**
診断を受け、症状に合わせて対応することが大切です。



症状別 対応のイメージ

健康	軽度認知障害(MCI)	認知症			
		初期	中期	後期	
症状	もの忘れが気になる お金の管理や買い物などは一人でできる	もの忘れによって生活がしづらい 日付や時間が分からなくなる 不安が強い	買い物やお金の管理が難しい 道に迷うことがある ついさっきのことも忘れる	食事や着替え、排泄など 日常生活に手助けや介護が必要になる	表情が乏しい ほぼ寝たきりで意思疎通が難しい
サービス一例	特定施設入居者生活介護	通所介護	訪問介護 通所リハビリテーション	小規模多機能型居宅介護	
	ふれあいサロン 介護予防事業	緊急通報システム	認知症対応型共同生活介護	老人保健施設	特別養護老人ホーム
		配食サービス	認知症高齢者等事前登録(個人賠償責任保険事業、見守りシール交付事業)	在宅療養管理指導	訪問看護
		成年後見人制度			
	認知症カフェ	認知症介護家族支援プログラム	認知症介護家族交流会	短期入所生活介護	



公的なサービス以外にも、様々なサービスがあり、市では情報をまとめたガイドブックを発行しています。地域包括支援センターの相談員等が状況に合わせ、サービスを紹介します。困りごとや心配ごとは積極的に話してみましょう。

家族が知っておくとよいこと

- 認知症について学ぶ機会を持ちましょう。
- いつもと違う「気づき」があったら、早めに相談しましょう。
- 腹が立つのは当たり前です。一人で抱え込まず、ほかの家族と話してみましょう。
- 自分の時間や心身を大切に。
- 介護負担が増えるため、介護サービスを上手に利用しましょう。
- そろそろ施設の情報収集をしておくとお安いです。

他にもあります！
知っておくと役に立つ豆知識

つしまオレンジサポートチーム
認知症の疑いのある方とご家族を短期間で集中的に支援する医療・介護の専門職で構成するチーム。

かえるネットつしま
行方不明となった認知症の人を早期発見・保護するための情報配信システム。

認知症サポート医
地域の医療や介護がスムーズに連携し、機能するよう、認知症に関する高い専門性を持った医師。

認知症疾患医療センター
認知症の診断や、周辺症状への対応等の相談ができる専門機関。近隣では七宝病院内に設置されています。

認知症の人と家族の会
認知症の方を介護をする家族を支える団体。愛知県支部では、電話相談や介護者のつどいなど様々な活動を行っています。